

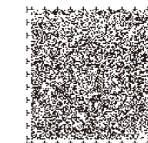
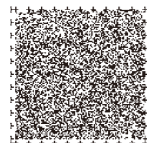
もっと輝く佐賀県へ

佐賀さいこう ビジョン 2021

佐賀さいこう!

目の不自由な方のための音声コード

音声コードは1.8cm角の中で約1,000文字の情報が記憶できるもので、専用の読み取り機がコードを音声に変換し、文章内容を読み上げます。左の切りかきは、目の不自由な方がコードのある場所を認識するためのものです。



佐賀県のすがた

人口 ● 812,013人
総務省「令和2年国勢調査人口速報集計」(令和2年10月1日現在)
世帯数 ● 312,111世帯
総務省「令和2年国勢調査人口速報集計」(令和2年10月1日現在)
面積 ● 2,440.69km²
国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(令和2年10月1日現在)

サガン鳥栖 (2021年のスローガン)

Full Power



県木(クス)
県内では「川古(武雄市若木)」のクスが一番大きく、根まわり33m、樹齢は3000年をこえると推定されます。(昭和41年9月指定)



県鳥(カササギ)
「カチガラス」とも呼ばれ、佐賀平野を中心に生息しています。大正12年には天然記念物に指定され、保護鳥となっています。(昭和40年5月指定)



県花(クスの花)
クスの花は5月に咲き、直径が3~4mmで、愛らしい白ないし淡黄色をしています。(昭和29年3月指定)

2021年度版 県政ガイド

佐賀さいこうビジョン2021

人を大切に、 世界に誇れる佐賀づくり

政策推進の視点

さがデザイン

県産品、街並みなどの「モノ」と、社会のシステム、サービスなどの「コト」を磨き上げ、新たな価値を付与することにより、人の暮らし、まち・地域を心地よくし、豊かなものにします。

さが創生

佐賀県にある「本物」の地域資源の磨き上げや、女性が活躍する社会づくりの推進などにより、雇用や新しいひとの流れ、子育てしたいと思ってもらえる環境、時代に向き合う地域社会を作り出します。

県政運営のキーワード

現場
現場第一

ミッション
本来の目的を見失わない

プロセス
プロセスを大切に

【目次】

2021年度県の主な取組の紹介

新しいライフスタイルで楽しむ	3
佐賀から新たなスポーツ文化を発信	7
未来を担う人づくり	9
地域の魅力を掘りおこす	11
佐賀の文化と歴史を引き継ぐ	13
新たな時代の産業をつくる	15
佐賀の宝を輝かせる	17
くらしを守る	19
子育てし大県”さが”	21
人の想いに寄り添う	23
佐賀県のすがた	25

新たな時代に向かって

新型コロナウイルス感染症をきっかけに、世界は大きく変化しています。

これまでのやり方や枠組みが大きく変わる中、新たな道を模索し、

さまざまな分野で試行錯誤が続けられています。

日本が大きく変化した明治時代、佐賀の偉人・大隈重信侯は、

日本初の鉄道開通、通貨「円」の制定、早稲田大学の創立などを実現し、

近代日本の国づくりや人づくりに貢献しました。

百回忌を迎えた今年、かつて大隈侯が多様な考えを取り入れながら、

柔軟な発想力と実行力で新たな時代を切り拓いていったように、

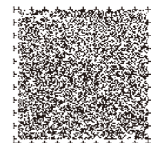
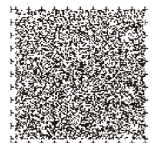
今を生きる私たちもまた、力を合わせて一歩ずつ前へ踏み出していかなければなりません。

佐賀県は「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を県政の基本理念として、

これからも県民の皆様とともに、未来を見据えた取組を力強く進めてまいります。

チーム佐賀・オール佐賀で、コロナ禍を乗り越えていきましょう。

佐賀県知事 山口 祥義よしのり





佐賀さいこうビジョン

新しいライフスタイルで楽しむ

Lifestyle

1 アウトドアアクティビティで地域を活性化

県では、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを最小限に抑えながら、広い空のもとで佐賀の魅力を感じていただく「OPEN・AIR佐賀」を展開しており、豊かな自然の中でスポーツを楽しむアウトドアアクティビティの創出を進めています。

年齢や性別を問わず、体力に応じて誰もが気軽に楽しめる環境づくりに向けて、



唐津の海でSUP(サップ)*を楽しむ様子



フォレストアドベンチャー・吉野ヶ里

民間事業者などと連携しながら、体験メニューを充実し、受入体制を強化します。また、利用を促進するため、情報発信や体験の機会づくりにも力を入れていきます。

これからの時代にマッチした新たなライフスタイルとして、地域の魅力向上や交流人口の拡大につなげていきます。

*SUP/スタンドアップパドルボード。ハワイ発祥のマリンスポーツでサーフボードより少し大きめのボードの上に立ち、波乗りや海の上を散歩することができます。

2 「OPEN・AIR佐賀」北山キャンプ場と21世紀県民の森の魅力向上

県では、「OPEN・AIR佐賀」を推進しており、その環境整備の一環として、北山湖周辺の豊かな自然環境を活かし、北山キャンプ場と21世紀県民の森を心身ともにリフレッシュできる場として、再整備を行います。

北山キャンプ場では、オートサイト※やWi・Fi環境など、近年のキャンプ場利用者の方々のニーズに対応した、より魅力ある施設として令和5(2023)年度にリニューアルオープンできるように、準備を進めていきます。

OPEN-AIR×滞在 【オートキャンプ】



OPEN-AIR×働く 【テレワーク】



公式LINEはコチラ!



公式LINE「佐賀の移住子ちゃん」



さが移住サポートデスク相談員

3 新しい移住のカタチ「テレワーク×移住」を推進します!

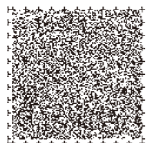
新型コロナウイルス感染症の拡大により、大都市圏ではテレワークが浸透し、場所を選ばない働き方が広がっています。また、若い世代を中心に地方移住への関心が高まっています。

この状況を受け、県では、移住前の仕事を変えずにテレワークで勤務ができる新しい移住のスタイルを普及するため、今年度から、お試して県内に一定期間滞在し、テレワークを体験する方に対し、滞在費用などの一部を補助する「お試しテレワーク移住補助金」を創設します。

この事業で、佐賀の暮らしやすさやテレワークでも仕事ができることを実感してもらい、県内への移住者の増加につなげていきます。

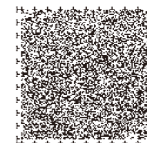
お問い合せ先

- ②【OPEN-AIR佐賀】 有明海再生・自然環境課 ☎0952-25-7080 ✉ariakekaisai@pref.saga.lg.jp
北山キャンプ場((一社)佐賀市観光協会内ページ) URL <https://www.sagabai.com/main/?cont=kanko&fid=3>
森林整備課 ☎0952-25-7134 ✉shinrinseibi@pref.saga.lg.jp
21世紀県民の森(総合案内センターほおのき) URL <http://www.smile-e.org/>
- ③【テレワーク移住】 さが創生推進課 移住支援室 ☎0952-25-7393 ✉sagaiju@pref.saga.lg.jp
サガスマイル URL <https://www.sagasmile.com>



お問い合せ先

- ①【アウトドアアクティビティ】 スポーツ課 ☎0952-25-7359 ✉sports@pref.saga.lg.jp



4 多くの方が自転車を 楽しめる佐賀県へ！

県では、「OPEN・AIR佐賀」を推進する中で、自転車を活用し、佐賀県を楽しむ環境づくりを進めています。県内の飲食店や観光施設などにサイクルラックを設置し、スタンドのついていないスポーツバイクで観光しても気軽に休憩できる環境を整備したり、佐賀を初めて訪れた人も楽しめるように、自転車周遊マップの作成などに取り組みます。また、昨年度オープンしたサイト「佐賀サイクリングクラブ(SCC)」をはじめとしたメディアを通じ、佐賀のサイクル情報を発信していきます。



自転車で、佐賀がもっと好きになる。

これらの取組を通して、より多くの方が自転車で佐賀県を楽しめる環境づくりを推進します。

5 歩くライフスタイルで まちも人も元気に！

県では、「歩こう。佐賀県。」をスロガンに、歩くことや自転車、公共交通機関などを生活に積極的に取り入れる「歩くライフスタイル」を推進しています。

楽しく歩きたいきっかけを提供するため、県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」を使ったスタンプラリーコースを追加し、歩いて貯めたポイントを利用できる協売店の数をさらに増やしていきます。あわせて、サイクルツーリズムの情報発信や「まち歩き」イベントを展開していきます。また、佐賀駅からSAGAサンライズパークまでの通りや佐賀城公園、県庁前のくすかぜ広場などで歩きやすくなるような取組を行います。佐賀で暮らす人も、佐賀を訪れる人も過ごしやすい、まちも人も元気な、歩きやすくなる佐賀県を目指します。

6 『さが健康維新県民運動』 推進中！

県では、メタボリックシンドロームや、その予備群が増加していることから、令和元(2019)年度から4項目を柱とした「さが健康維新県民運動」を展開しています。「歩く・身体活動」では、ウォーキングアプリ「SAGATOCO」を配信し、県民の方々が歩きたくなる環境づくりを進めており、「食と栄養」

では、野菜を多く食べることや先に食べることを子どもや働き盛り世代に啓発する「ベジスター」※を推進しています。

また、今年度は、「歯と口の健康」を重点テーマとして、歯周病の予防や早期治療を促すため、歯科健診の受診を広く勧めていきます。このような取組を通して、県民の皆さんの健康づくりを応援していきます。

※ベジスター！/SAGA VEGETABLE START Projectの略

▶ さが健康維新県民運動 4つの柱

県民の“元気で長生き”(健康寿命の延伸)を目指し、4つの分野で健康づくりの様々な取組を行っています。

歩く・身体活動

まず、10分長く歩こう

目指そう！
プラス
1,000歩/日



食と栄養

まず、野菜を一皿多く摂ろう

目指そう！
プラス
80g/日



歯と口の健康

まず、歯の健診に行こう

目指そう！
80歳で
自分の歯20本



たばこ

まず、禁煙にチャレンジ

目指そう！
6カ月後の
卒煙



7 吉野ヶ里歴史公園は 開園20周年！

多くの方にご利用いただいている吉野ヶ里歴史公園は、令和3(2021)年4月21日で開園20周年を迎えました。20周年を契機に、これまでの歴史的な価値の高い吉野ヶ里「遺跡」に加え、キャンプやスポーツイベントなど屋外で多彩な自然体験ができ、アウトドアも楽しめる公園の魅力を発信していきます。これまでご利用いただいていた子育て世帯をはじめ幅広い年代の方に楽しんでいただける公園を目指します。

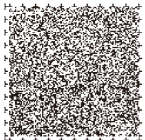
また、神埼・吉野ヶ里エリアを訪れる人の増加につながるよう、周辺の観光施設と連携していきます。



お問い合せ先

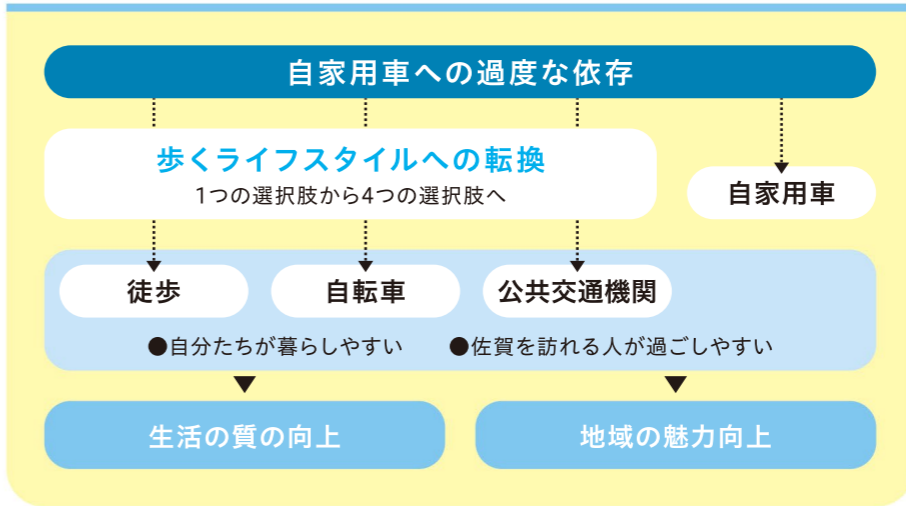
6 【さが健康維新県民運動】 健康増進課 ☎0952-25-7075 ✉kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp
佐賀県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」 URL https://saga.karada.live/
ベジスターinstagramアカウント名：sagavegesta

7 【吉野ヶ里歴史公園】 まちづくり課 ☎0952-25-7159 ✉machizukuri@pref.saga.lg.jp



歩こう。
佐賀県。

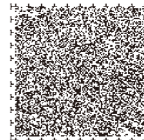
SAGATOCO



お問い合せ先

4 【サイクルツーリズム】 観光課 ☎0952-25-7386 ✉kankou@pref.saga.lg.jp
SAGA Cycling CLUB. URL https://www.asobo-saga.jp/scc/

5 【歩くライフスタイル】 交通政策課 ☎0952-25-7525 ✉koutsuuseisaku@pref.saga.lg.jp
歩こう。佐賀県。 URL https://aruko.saga.jp/





佐賀さいこうビジョン

佐賀から新たな スポーツ文化を発信

S p o r t s

1 県内外で活躍する アスリートが 大会ピクトグラムに!

2024年、「SAGA2024」(第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会)が佐賀県で開催されます。「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」となる初めての大会として、「体育からスポーツに変わる、今だからこそできること」を追求し、前例のない新しい大会を目指します。

その取組のひとつが、競技種目をわかりやすく表現したピクトグラムの作成です。みんなで大会をつくり上げるといふ視点から、県内外で活躍するアスリートを大会ピクトグラムのモデルに採用し、「佐賀からはじまる新しい大会」を印象付けています。

SAGA 2024

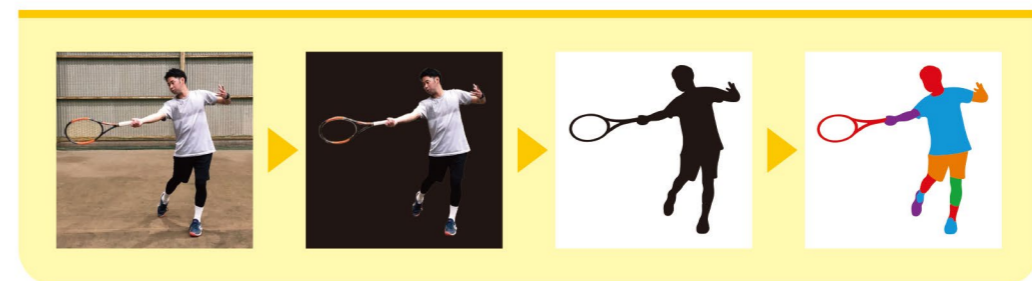
国スポ・全障スポ
新しい大会へ。
すべての人に、スポーツのチカラを。



SAGA
2024
ホームページ

今後、大会ピクトグラムを活用し、モデルとなったアスリートからのメッセージの発信や、グッズの製作、広報媒体を使ったPRなど、県内外に向けて更なる展開を図っていきます。

▶ ピクトグラム作成までのイメージ



2 「SSP構想」への 賛同の輪が広がっています

「SAGAスポーツピラミッド(SSP構想)」は、「誰もがスポーツを楽しみ、その輪が広がることで、一体となって盛り上がるようなまちをつくりたい」という思いからスタートしました。スタートから3年が経過し、車いすテニスの大谷桃子選手の全仏オープン準優勝をはじめ、佐賀から全国、さらには、世界で活躍する選手が育っています。

3 夢や感動を生み出す拠点へ SAGAサンライズパーク

コラボ商品の開発など、佐賀のスポーツを支える新しい取組が進んでいます。令和4(2022)年4月には民間企業と連携したアスリート寮も誕生します。

これからもスポーツの力を活かした人づくり、地域づくりを進めていきます。



SSP
ホームページ



佐賀市のアスリート寮の完成イメージ図

2024年に本県で開催される「SAGA2024」を契機に、SAGAサンライズパークの整備を進めています。

この秋、いよいよ水泳場「SAGAアクア」がオープンします。メインとなる屋内50mプールは、競泳、水球など、用途に応じて水深を調整でき、約1,200席の観客席や大型ビジョンを備え、国際大会の開催も可能です。飛込プールもリニューアル!

また、2023年春のグラントオープンに向けて、約8,400席の九州最大級の多目的アリーナとなる「SAGAアリーナ」などの建設工事も進めています。

SAGAサンライズパークがスポーツや文化など様々な活動を通じて、地域の活力を生み出し、佐賀県の未来を切り拓く『さが躍動』の象徴的エリアに生まれ変わります。



SAGAアクア外観



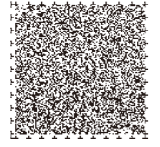
SAGA
サンライズパーク
完成イメージ動画
はコチラ!



SAGAサンライズパーク完成イメージ

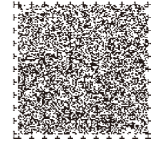
お問合せ先

- ②【SSP構想】 SAGAスポーツピラミッド推進グループ ☎0952-25-7345 ✉ssp-g@pref.saga.lg.jp
SSP URL <https://ssp.saga.jp/>
- ③【SAGAサンライズパーク】 SAGAサンライズパーク整備推進課 ☎0952-25-7482 ✉sunrisepark@pref.saga.lg.jp
SAGAサンライズパーク整備事業 URL <https://www.pref.saga.lg.jp/list03887.html>



お問合せ先

- ①【SAGA2024】 SAGA2024総務企画課 ☎0952-25-7322 ✉saga2024soumu@pref.saga.lg.jp



佐賀さいこうビジョン

未来を担う 人づくり

Nurturing



1 私立学校における学習用の 1人1台端末の整備を 支援します

新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化している中で、学校における教育活動にも様々な影響が及んでいます。こうした状況にあっても県内全ての生徒が必要な教育を受けることができるよう環境整備を行う必要があります。

県立高校と同様の環境を整備するため、私立学校においても生徒1人1人がタブレットPCなどの学習用端末を使用できるように、機器の導入や校内LANの整備に係る費用を補助します。

コロナ禍においてオンライン学習の必要性が高まる中、私立学校の生徒たちが学びを継続できるよう、私立学校の取組を応援していきます。

2 県内高校の魅力 を発信します

県教育委員会では、中学生やその保護者を対象に、県内高校による高校進学説明相談会を県内3カ所で開催します。

また、各高校の教育活動や魅力を詳しく

3 教育活動のデジタル化を 進めます

県教育委員会では、平成23(2011)年度から全国に先駆けて全県規模でICT活用教育に取り組み、平成26(2014)年度からは、全ての県立学校に1人1台端末を導入し、授業や様々な教育活動でICTの活用に取り組んできました。



生徒交流の実例紹介

こうした先進県としての強みを活かし、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大に備え、オンライン授業にチャレンジする「プロジェクトE」に取り組みました。

さらに今年度からは、ICT活用教育を「プロジェクトE」と位置づけ「プロジェクトEプラス」として1人1台端末を活用した授業改善と教育活動のオンライン化に取り組みんでいます。また、GIGAスクール構想の実現に向けて、県内全ての市町にも1人1台端末が導入されることから、これまでの知見を基に市町立学校に対し、積極的な支援をしていきます。

4 実践的な教育で 人材を育成します

新型コロナウイルス感染症の影響により、製造業や介護分野などでの人手不足が続いています。こうした状況に対応すべく、県立の専門学科・総合学科高校では地元企業に求められる最先端技術を身に付けた若手技術者や介護人材などの育成に一層力を入れているところです。

県では、今年度、各県立の専門学科・総合学科高校において、最先端のデジタル



生徒の実習の様子(介護関係)



生徒の実習の様子(工業関係)



生徒の実習の様子(介護関係)

5 若い世代は、将来の介護を 担う貴重な宝です！

介護の仕事は、人と人とのふれあいを通じ、感動と成長を実感できる素晴らしい仕事です。

「若い世代に介護の仕事をもっと身近に感じて知って欲しい！」「将来の介護を担う人材」として、活躍して欲しい」という想いから、県では、「佐賀の介護人材あいプロジェクト」に取り組みんでいます。

小・中学生に介護への興味・関心を持ってもらうため、介護の仕事体験イベントを行ったり、介護の資格取得を目指す高校生の実習費や通学費の支援を行います。

これにより、県内の若い世代が、これからの佐賀の介護を支えるという気運醸成を図り、人材の確保、育成につなげていきます。

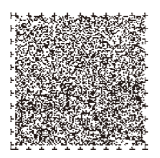
「佐賀の介護人材あいプロジェクト」の全体図

「介護のイメージアップ・関心喚起」「資格取得の支援」に取り組みます！

小学生	中学生	高校生
介護に目(「Eye「あい」)を向ける！	介護との出会い(「あいいい」)	介護で頑張る若者自身(「If「あい」)を応援！
テレビCM、HP等を活用した広報	介護の仕事体験イベント	資格取得に係る実習費等の補助
	県内福祉系高校の周知・PR	通学にかかる経費の補助
		就職準備金等の貸付

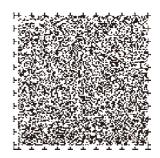
お問い合わせ先

- ④【産業教育設備・介護実習設備】 教育総務課 ☎0952-25-7224 ✉kyouiku-soumu@pref.saga.lg.jp
- ⑤【佐賀の介護人材あいプロジェクト】 長寿社会課 ☎0952-25-7105 ✉tyoujyusyakai@pref.saga.lg.jp



お問い合わせ先

- ①【私立学校1人1台端末整備】 法務私学課 私立中高・専修学校支援室 ☎0952-25-7464 ✉houmu-shigaku@pref.saga.lg.jp
- ②【SAGAハイスクールプロモーション】 学校教育課 ☎0952-25-7228 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp
- ③【プロジェクトEプラス】 学校教育課 プロジェクトE推進室 ☎0952-25-7363 ✉gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp
ICT活用教育 URL <https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/list01913.html>





佐賀駅イメージ図

地域の魅力を掘りおこす

Discovery

佐賀さいこうビジョン

1 「人を惹きつける」まちづくりを目指します



県では、佐賀ならではの歴史や文化を活かし、人が集う心地よい公共空間をつくり、佐賀を訪れる方々にも魅力的なまちづくりを目指して、「KIZUKIプロジェクト」を推進しています。

県民の皆さん、市町や民間の方々とともに、利活用の視点を大切に、地域の価値や資源に気づき、活かすことにより、魅力とにぎわいのあるまちを築いていきます。

具体的には、整備が進む佐賀駅周辺のまちづくりや、肥前鹿島駅における整備構想策定などに積極的に取り組んでいきます。

2 「地域と旅行者をつなげる」マッチング事業」

中山間地・離島・県境地域では、少子高齢化などにより人手不足が深刻化しています。

こうした中、新型コロナウイルス感染症

の拡大により、地方の暮らしに関心が高まっていることから、地域の担い手を県内外から呼び込む仕組みづくりに取り組んでいます。

地方へ旅をしたいとの思いを持つ旅行者と人手不足に悩む地域を引き合わせ、旅行者に地域での活動に参加してもらうことで、佐賀の様々な魅力を知ってもらいます。旅行者は活動への報酬を得ながら地方を旅することができ、地域の担い手不足の解消にもつながります。



受入先でアスパラガスを収穫する学生

3 「地域おこし協力隊と多文化共生の」地域づくりを推進

県内の外国人住民が増加する中、外国人と日本人双方が、「ことばの壁」や「交流のきっかけがつかめない」などの理由で、コミュニケーションが取れずに不安を

感じています。こうしたことから、地域の課題に取り組んだり、地域のやりたいことをサポートする「地域おこし協力隊（多文化コミュニケーションプランナー）」を地域外から受け入れ、外国人と日本人が互いに理解し合い、暮らしやすいまちづくりを推進します。

外国人と日本人が、「地域にともに暮らす者同士」として、つながりを深めていくことで、誰もが暮らしやすい佐賀を実現していきます。



さが国際フェスタ (伊万里市)



一緒に働く日本人スタッフと外国人農業経営者



やさしい日本語講座での場面

4 「自発の地域づくり」を応援します

佐賀が誇る自然や歴史、文化、特産物などの資源を活かして、県内各地では、地域の方々が主体となり、様々な「自発の地域づくり※」が行われています。この



写真提供：佐賀県観光連盟

ような地域の取組により、佐賀の魅力を一層高めるため、県では、各分野の専門家を派遣して「自発の地域づくり」の取組を磨き上げるとともに必要な費用を補助しています。こうした支援を行うことで、活動がさらに活発になり、県民の皆さんがふるさとへの愛着や誇りを高めるとともに、佐賀の魅力をもっと広く伝え、多くの方々に共感される魅力ある佐賀県を目指します。

※自発の地域づくり／地域住民による地域資源を活用した自発的かつ主体的な地域づくり

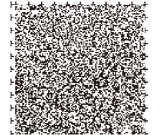
5 「有明海沿岸道路」をどんどんつなげる!!

令和3(2021)年3月に有明海沿岸道路の大野島ICまでが開通し、7月には、佐賀福富道路の芦刈南ICから福富IC間(3.5km)が開通しました。



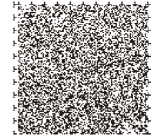
お問い合わせ先

- ④【自発の地域づくり】 さが創生推進課 ☎0952-25-7505 ✉sagasousei@pref.saga.lg.jp
- ⑤【有明海沿岸道路】 道路課 ☎0952-25-7155 ✉douro@pref.saga.lg.jp



お問い合わせ先

- ①【KIZUKIproject】 企画チーム ☎0952-25-7360 ✉kikakuteam@pref.saga.lg.jp
- ②【地域の担い手マッチング】 さが創生推進課 ☎0952-25-7376 ✉sagasousei@pref.saga.lg.jp
- ③【多文化共生】 国際課 ☎0952-25-7328 ✉kokusai@pref.saga.lg.jp





佐賀の文化と歴史を引き継ぐ

佐賀さいこうビジョン

Inherit

1 特別展 「陸蒸気を海に通せ!」を 開催します

2022年は佐賀の偉人・大隈重信没後100年、鉄道開業150年の節目に当たります。これを記念して佐賀城本丸歴史館では、日本初の鉄道開通に尽力した大隈重信の功績を紹介する特別展を令和3(2021)年11月12日(金)から令和4(2022)年1月23日(日)まで開催します。



東京高輪海岸蒸気車鉄道図(本館蔵)

蒸気機関の研究が進んでいた佐賀藩の出身であった大隈は、明治に入ると政府から鉄道事業の最高責任者に任命されました。資金不足や技術者の確保、反対派による抵抗などさまざまな課題に直面しながらも鉄道の将来性を信じ、明治5(1872)年、新橋〜横浜間に

ける鉄道開業を成し遂げました。我が国の鉄道草創期に大隈が果たした役割を貴重な資料により紹介します。また、展示内容への理解をより深めていただくため記念講演会などを開催します。

2 名護屋城跡・陣跡を 文化観光の拠点に

唐津市鎮西町・呼子町及び玄海町一帯に広がる「名護屋城跡並びに陣跡」は、文禄・慶長の役(1592・1598年)に際して、豊臣秀吉や徳川家康など全国の大名が滞在した城郭の遺跡群です。当時の名護屋城では茶道や能による文化交流が行われ、伝統文化発展の「始まりの場所」となったことから、県では「はじまりの名護屋城。」をコンセプトに情報発信や周遊の拡大に取り組んでいます。

かつて名護屋城で使われた「黄金の茶室」を再現し、茶会を体験していただくプログラムの開発や名護屋城博物館に隣接する木下延俊(豊臣秀吉の甥)陣跡の再整備を進めるほか、10月には城跡で大茶会を開催する予定です。佐賀が誇る食や自然の魅力に囲まれた名護屋城跡・陣跡を文化

観光の拠点として磨き上げていくことで、地域の活性化につなげていきます。

はじまりの名護屋城。

The Beginning of New Cultural Tourism from SAGA!



名護屋城跡

3 児童書や 郷土資料を身近に!

県立図書館では出版される児童書を全て購入し、県立・市町立図書館などを



通して県民の皆さんへ貸出します。これらの児童書は、県内の公共図書館などの選書や研究にも活用されています。さらに、県内司書のレベルアップなどを目的に司書ネットワークを推進し、リーダー司書が市町を訪問、助言・指導を行っています。その他、郷土資料のデジタル化や、貴重な資料を後世に残し、活かすための助言・指導を行っています。

地域の「知の拠点」である県内の図書館などのネットワークにより県民の皆さんが本に親しみ、様々な郷土資料などに触れる環境を整えていきます。

4 九州陶磁文化館の 展示室を リニューアルします

九州陶磁文化館は、海外からの観光客も多く訪れる陶磁器専門の博物館です。令和4(2022)年の大規模な観光キャンペーンに向けて、さらに多くの人に有田焼をはじめとする佐賀が誇るやきもの文化の魅力を伝え、その価値への理解を深めてもらうため、展示室をリニューアルします。

貴重な陶磁器資料を映像やさまざまな空間演出と組み合わせる展示し、有田焼発展の歴史をわかりやすくドラマチックに紹介します。九州陶磁文化館がコレクションやコンテンツの魅力や国内外の幅広い来訪者に伝える文化観光施設となり、県内の窯元や史跡などへも多くの人が訪れるよう工夫をしていきます。



完成イメージ図

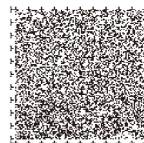
お問い合わせ先

- ①【司書ネットワーク】 まなび課 ☎0952-25-7313 ✉manabi@pref.saga.lg.jp
佐賀県立図書館 ☎0952-24-2900 ✉toshokan@pref.saga.lg.jp
佐賀県立図書館 URL <https://www.sagalibdb.jp>
- ④【九州陶磁文化館】 文化課 ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
九州陶磁文化館 ☎0955-43-3681 ✉kyuto@pref.saga.lg.jp
九州陶磁文化館 URL <https://saga-museum.jp/ceramic/>



お問い合わせ先

- ①【特別展】 佐賀城本丸歴史館 ☎0952-41-7550 ✉rekishikan@pref.saga.lg.jp
佐賀城本丸歴史館サイト URL <https://saga-museum.jp/sagajou>
- ②【はじまりの名護屋城。】 文化課 ☎0952-25-7236 ✉culture_art@pref.saga.lg.jp
はじまりの名護屋城。 URL <https://hajimari-nagoya.jp/>
名護屋城博物館 ☎0955-82-4905 ✉nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp
名護屋城博物館 URL <https://saga-museum.jp/nagoya/>





佐賀さいこうビジョン

新たな時代の産業をつくる

Development



スタートアップのコミュニティイベント

1 DXとスタートアップで世界を目指せ!

近年、新しいビジネスで急成長を遂げる「スタートアップ」が注目されており、県内においても起業家が全国のビジネスプランコンテストで賞を獲得したり、大手企業との協業を実現させています。

また、県では、平成30(2018)年10月に開設した「佐賀県産業スマート化センター」をDX(デジタルトランスフォーメーション)※推進の拠点として県内企業を支援しており、県内各地でデジタル技術の活用が進むとともに、県外からの視察も相次いでいます。

2 ものづくりの技を次世代へ

ものづくりの現場では、熟練技能者の高齢化が進み、技能の伝承や後継者の確保が大きな課題となっています。

県では、AIを活用して技能を解析し、継承を進めていくものづくり企業に対して補助を行います。また、熟練技能者が、技能競技大会に出場する若手技能者や、技能検定を受検する高校生に対して指導をする際の補助も行います。さらに、佐賀が誇る伝統的地場産品のうち、特に後継者不足に直面している産品をモデルケース



プログラミング合宿の成果発表会

これらの成果と蓄積を生かし、県では、佐賀から世界を目指していくような起業のための環境づくりを一層進め、産業スマート化センターの機能強化や人材不足が顕著なプログラミング人材の育成・確保に努めていきます。

※DX/IT技術を浸透させることで、人々の生活を良い方向へ変化させるという概念。



熟練技能者が指導を行う様子

として選び、その優れた技術の記録映像の制作や情報発信、ワークショップの開催などによる交流の場を設けます。

ものづくりの技を次世代に繋げていくため、後継者の確保に向けた環境づくりを行います。

3 住居支援で高校生の県内就職を促進!

佐賀県は、豊かな自然や食に恵まれ、人と人の深いつながりがあるなど生活しやすく、魅力あふれる地域です。県内には、地元で根差した企業や、佐賀を拠点に国内外で幅広く活躍する企業が数多くあります。

にやんま

新規高卒者を採用して住む場所を支援したら

最大 月1万5千円 を補助!

【新規高卒者等住居支援促進事業】佐賀県内の企業が対象

高校生を採用したいけど 求人を出しても応募がない...

住む場所を支援することで 採用につながる可能性があります

高校生が県外企業への就職を決められた理由では、**実が完備**されていないから、という回答が44.7% (平成30年度高校生へのアンケート結果 複数回答)

活用事例

- ★ 新たに社員寮を整備
- ★ 新たに職員向けに住宅に関する手当を支給

令和3年4月から受付開始!

ところが、就職を希望する県内高校生の約4割が県外の企業に就職しています。大きな理由の1つとして、寮が完備されていることが挙げられます。また、県内企業の多くも、自宅からの通勤を前提として採用するのが現状です。

県では、高校生の県内就職を後押しするため、通勤圏外から採用した高卒者に、手当や寮などの住居支援を行う県内企業に対して補助金を交付します。

幅広い地域から高卒者を採用する県内企業を支援することで、高校生の県内就職を促進していきます。

4 美食のまち、サンセバスチャンを目指して

県では、佐賀の「食材」と「器」、「料理人」を組み合わせ、調和させることによって



サガ マリアージュ

食材 × 器 × 料理人

新しい価値を創造していく「サガマリアージュ」に取組み、料理という一皿に佐賀の魅力を表現し、それらを発信してきました。

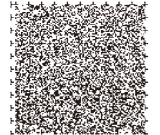
今年度は、これまでの成果を受け継ぐとともに、新たな取組として、トップシェフを目指す料理人や、料理人を志す学生の支援を行います。

県内料理人と食材や器の作り手による研究会「サガマリアージュラボ」を創設するほか、人間国宝等の器を使った期間限定レストラン「USEUM SAGA 2021」や、県出身のトップシェフなど食のプロフェッショナルによる特別講義「サガマリアージュアカデミー」を開催します。

これらの取組を通じ、「食材と器と料理人のまち」として、佐賀の魅力を国内外に発信していきます。

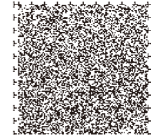
お問合せ先

- ③【高校生の県内就職】産業人材課 ☎0952-25-7310 ✉sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp さが就活ナビ URL https://shukatsu.saga-s.co.jp/
- ④【サガマリアージュ】流通・貿易課 ☎0952-25-7252 ✉ryuutsuu-boueki@pref.saga.lg.jp



お問合せ先

- ①【DX・スタートアップ】産業政策課 DX・スタートアップ推進室 ☎0952-25-7586 ✉innovation@pref.saga.lg.jp SAGA Innovation & Creative Lab. URL https://www.facebook.com/SagaIClab/ Startup Gateway SAGA URL https://www.sgsaga.jp 佐賀県産業スマート化センター URL https://www.saga-smart.jp
- ②【ものづくり】ものづくり産業課 ☎0952-25-7421 ✉monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp 産業人材課 ☎0952-25-7310 ✉sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp 流通・貿易課 ☎0952-25-7095 ✉ryuutsuu-boueki@pref.saga.lg.jp





佐賀の宝を輝かせる

Treasure

1 稼げる農業を実現させる「さが園芸888運動」

県では、稼げる農業を実現するため、令和元(2019)年度から、生産者や関係機関・団体と二丸となり、園芸農業を振興する「さが園芸888運動」を展開しています。

令和3(2021)年度からは、施設整備等の初期投資が抑えられ、多様な担い手の確保・育成が可能となる園芸団地の整備促進や、超大規模農家や集落営農法人等による露地野菜¹の生産拡大、高品質なみかんを省力栽培できる根域制限栽培²の水田等平坦部への普及拡大を重点的に推進します。

このような取組により、令和元(2019)年は584億円だった園芸農業の産出額



農業法人により生産される露地野菜



施設園芸団地



高品質なみかんを生産できる根域制限栽培

を令和10(2028)年には888億円に伸ばすよう努めていきます。

※1 露地野菜/ハウスなどの設備を使わず、野外で栽培した野菜のこと。

※2 根域制限栽培/防根シート上に盛り土した培土に樹を植え付けることで、根の分布域を制限して栽培する方法。

2 「唐津ん魚」のFAN(ファン)拡大に取り組みます!

日本有数の漁場である玄海の荒波に育まれた玄海産水産物「唐津ん魚」は、「呼子のイカ」はもちろん、「アカウニ」「や唐津くんち」で有名な「アラ(クエ)」「など美味しいものが沢山あります。さらに、漁師さんが丁寧に魚を取扱うため品質が良く、漁協直営の魚市場から直送されるため鮮度が良いのが特徴です。しかし、その魅力について県内では、まだまだ認知されていません。

このため、玄海産水産物の魅力を県民の皆さんに知ってもらうため、県内の「こだわり」の飲食店を認定し、新メニューの開発や情報掲載などのキャンペーンを行います。

4 棚田地域の活性化に向けた取組を推進します

棚田地域においては、これまで、地域のリーダーを中心とした活動を通して、棚田保全や活性化に向けた取組(棚田米のブランド化、交流イベントの開催など)が行われてきました。しかし、リーダーの高齢化により、活動の継続や集落機能の存続が危ぶまれています。

このため、県では、地域活性化の専門知識と経験を有する「棚田地域活性化コーディネーター」をモデル地域(小城市江里山)に配置しています。各地域が抱える課題を把握し、地域の方々が主体となって活動できるような働きかけやイベント開催のサポートなどを行っています。また、モデル地域以外の棚田においても、市町が配置する地域おこし協力隊と連携しながら、地域活性化に向けた取組を展開していきます。



コーディネーターの活動風景

高鮮度・高品質で美味しい「唐津ん魚」を地産地消で盛り上げて、唐津ん魚の熱狂的なFAN拡大を目指します。



唐津ん魚メニュー(イメージ)



唐津ん魚(アカウニ)



魚市場の風景

3 森で働く人の真剣勝負「SAGA伐木チャンピオンシップ2021」開催!

佐賀県は人工林率が全国第1位であり、現在、その7割が利用可能な時期を迎えています。しかし、林業就業者は減少傾向にあり、新たな林業就業者の確保が課題であるとともに、就業者の安全意識や技術のさらなる向上が求められています。このような課題の解決に向けて、県では、「SAGA伐木チャンピオンシップ

大会概要



枝払い競技



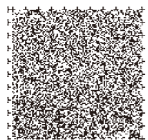
伐倒競技

開催日: 令和3年12月5日(日)

場所: 佐賀市嘉瀬町嘉瀬川河川敷(県立森林公園の西側)

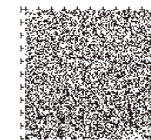
お問合せ先

- ③【SAGA伐木チャンピオンシップ2021】 林業課 ☎0952-25-7133 ✉ringyou@pref.saga.lg.jp
- ④【棚田地域活性化推進事業】 農山漁村課 ☎0952-25-7124 ✉nousangyoson@pref.saga.lg.jp
さが棚田ネットワーク URL <https://saga-tanada.com/>



お問合せ先

- ①【さが園芸888運動】 園芸課 ☎0952-25-7119 ✉engei@pref.saga.lg.jp
さが園芸生産888億円推進事業を紹介する
URL <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00324423/index.html>
- ②【唐津ん魚FAN拡大事業】 水産課 ☎0952-25-7145 ✉suisan@pref.saga.lg.jp





森川海人プロジェクト
キャラクター
もりかわいと
森川海人くん



佐賀さいこうビジョン

くらしを守る

Environment

1 流域治水を推進します

令和元年佐賀豪雨をはじめ、近年、気候変動による大規模な水害が起きています。これに備えるため、国、県、市町などの関係者が協働し、河川、集水、氾濫区域を合わせた流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の取組を推進しています。計画的に進めるため、「流域治水協議会」を設立し、地域の特性に合わせた浸水対策を行っています。

今後、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を柱とした、「流域治水



あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」
国土交通省HPより

2 川をもっと身近に、川が楽しくKAWARU!

県では、森・川・海の豊かな自然環境を守り、未来へ継承するため「森川海人プロジェクト」に取り組んでいます。その一環として、県民の皆さんが川に親しむ活動を始めます。支援するため「KAWARUプロジェクト」を令和元(2019)年度に開始しました。

今年度も、川に親しむイベント、学習会を行う団体への活動支援事業（KAWARUチャレンジ事業）や、森、川、海それぞれで活動する団体同士のネットワーク構築のための交流会を開催します。また、SUPボードなどを活用した環境学習や防災訓練なども予定しています。



川下り体験(佐賀市)



KAWARU交流会

イベント参加者が、体験を通して楽しく学び、川の魅力を感じる機会を提供していきます。

3 上空から安全・安心を守ります!

九州佐賀国際空港東側にある「佐賀県防災航空センター」では、令和3(2021)年3月28日、佐賀県初の消防防災ヘリコプター「かちどぎ」の運用を開始しました。災害発生直後の迅速な情報収集や、救助・救急・消火活動といった消防からの緊急要請への対応など、県自らの判断で運用することにより、大規模災害時に複数のヘリを効果的に運用するノウハウを得ることにつながります。



県内の消防本部から選抜された隊員9名の活動班と、ヘリの操縦、整備、運航管理を行う運航班（エス・ジー・シー佐賀航空(株)に委託）からなる「佐賀県防災航空隊」が、「かちどぎ」に乗り込み、上空から佐賀の安全・安心を守ります。

4 交通事故防止！ワーストレベル脱却に向けて

佐賀県の交通事故は、人口10万人当たりの人身交通事故発生件数に換算すると全国ワーストレベルです。こうしたことから県では、県民一人一人が「交通事故ゼロ」を自らの課題として認識し、交通安全の意識を高めてもらうため、デザインの力によって行動変容を促す「SAGA BLUE PROJECT」を展開しています。昨年は、交通マナーアップキャッチフレーズ「やめよう！佐賀のよからうもん運転」を広く県民に周知するためのデザインコンテストを開催しました。

今年度も、佐賀県交通安全キャラクターの「マニャー」と一緒に、「やめよう！佐賀のよからうもん運転」を呼びかけ交通安全対策を行っています。安全で安心な佐賀の実現を目指していきます。



受賞者記念撮影



プロジェクト」により、ハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策を進めます。

5 「福祉施設のいのちを守る」災害対応力の向上を目指して

近年、多発している自然災害の状況を踏まえ、社会福祉施設においては、水害や土砂災害に対する実効性のある備えが必要とされています。

そこで、社会福祉施設において、災害発生時に「いつ」「誰が」「何を」するかといった防災行動を簡潔に、「避難タイムライン」という新しい考えに基づいて整理し、作成するWEBセミナーを実施します。

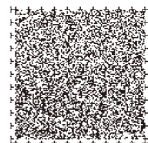
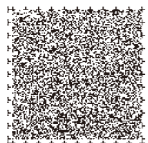
また、専門家派遣による伴走支援や災害物資の購入補助などにより、各施設のニーズに応じ、丁寧に支援することで災害時における対応力の向上を図ります。

「避難タイムライン作成例」

作成例	
当施設の災害リスクを確認！	
土砂災害リスク	
施設は、土砂災害警戒区域内にあります。	
大雨が降ると、 ☑ がけ崩れ(急傾斜地の崩壊) ☐ 土石流 ☐ 地すべりが起きる危険があります。	
避難のタイミングと避難先	
施設外(広域避難)	避難開始(台風接近時など施設外に安全に避難できる時) 警戒レベル3(高齢者等避難)の避難情報が発表されたとき 避難先: 特別養護老人ホーム○○(協定施設) (避難に要する目安時間: 約 60分)
施設内(屋内避難)	避難開始(施設外への避難に危険が伴うとき) 土砂キキウ(危険度分布)で、施設がある地域で「3」(非常に危険)が出現したとき 避難スペース: がけとは反対の施設2階以上の部屋 (避難に要する目安時間: 約 30分)

お問い合わせ先

- ③【消防防災ヘリコプター】 防災航空センター ☎0952-34-9001 ✉bousaikoukuusenta@pref.saga.lg.jp
- ④【SAGA BLUE PROJECT】 暮らしの安全安心課 交通事故防止特別対策室 ☎0952-25-7060 ✉kurashianzen@pref.saga.lg.jp
SAGA BLUE PROJECT URL: <https://saga-blueproject.jp>
警察本部 交通企画課 ☎0952-24-1111(代表)
交通安全に関するお知らせ(県警) URL: <https://www.police.pref.saga.jp/koutsu.html>
- ⑤【福祉施設のいのちを守る】 福祉課 ☎0952-25-7053 ✉fukushi@pref.saga.lg.jp





佐賀県子育て
応援キャラクター
さがっぴい

子育てし大県 “さが”

Support

佐賀さいこうビジョン

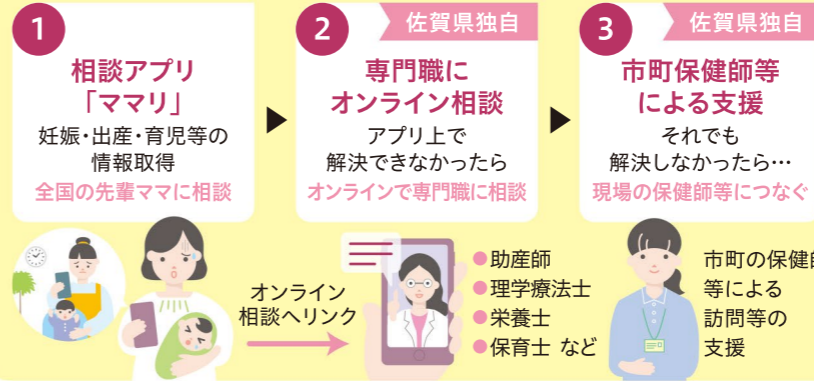
1 妊娠・出産・育児を アプリで応援します！

県では、安心して妊娠・出産・育児ができるよう、いつでも相談できる体制づくりに力を入れています。

その一環として、母親向け相談アプリ「Mamari」を活用し、母親同士で気軽に

▶ 母親向け相談アプリ mamari

“妊娠から子育てまで”切れ目なく手厚い相談支援



相談しあうことができる機能に加えて、県独自の取組として、助産師などの様々な専門職にオンラインで相談できるサービスを提供します。また、必要に応じて、市町の保健師による支援を受けることもできます。

妊娠初期から切れ目のない相談支援をすることで、母親の不安を1つでも多く取り除き、安心して出産・育児ができる環境を整えていきます。

2 ウェディング♥ストーリーを発信します

近年、未婚・晩婚化が進んでいます。内閣府の調査によれば、独身の20代、30代の30%以上が、新型コロナウイルス感染症の影響下において、結婚への関心が「高くなった」または「やや高くなった」と答えています。

若い方の結婚への関心が高まる中、県内在住の家族や、結婚、結婚式にまつわるエピソードなどをもとに、結婚や家族の魅力を発信します。

結婚や家族の良さを感じることができ、結婚をしたいと希望される方々を応援していきます。

5 「子育てし大」券“で”吉野ヶ里へGO!

「子育てし大県」さが「プロジェクトの一環として、平成28(2016)年度から吉野ヶ里歴史公園の入園料が期間限定で無料になる招待券「子育てし大」券」を配布しています。

県内はもちろん、近県の子育て世代の方にもご利用いただき、入園者数は年々増えています。

園内では、子どもたちに大人気のふわふわドームやローラーすべり台などの遊具、家族でバーベキューができるコーナーなど家族みんなで楽しめる工夫がいっぱいあります。また、吉野ヶ里歴史公園の開園20周年を記念したイベントも開催しています。

この機会に、ぜひ吉野ヶ里歴史公園にお越しください。



4 がんになっても子育ての希望を持てるように

男女ともに、がん治療などの影響で妊よう性(妊娠するための力)が低下又は失われる場合があるため、「妊よう性温存治療※」を行うことがあります。

このほか、幼稚園や保育所などでの体験が、小学校での生活や学びに円滑につながるよう、幼保小連携の取組も進めていきます。

3 保育幼児教育センターを開設しました

「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの」とされています。県では、令和3(2021)年4月、こども未来課内に「保育幼児教育センター」を開設しました。

県内の幼稚園、保育所、認定こども園などからの依頼に応じて、豊富な知識や経験を持つアドバイザーを派遣し、保育参観による助言や、指導計画に対する助言、また、園内研修の支援など、それぞれの施設が抱える課題やニーズに寄り添った支援を行っています。

男女ともに、がん治療などの影響で妊よう性(妊娠するための力)が低下又は失われる場合があるため、「妊よう性温存治療※」を行うことがあります。

▶ 佐賀県妊よう性温存治療支援事業

対象となる方

- 県内在住の43歳未満のがん患者
- がん治療等により妊よう性が低下する又は失う恐れがあると医師に診断された方 など

助成対象となる費用

- 胚(受精卵)凍結
- 未受精卵凍結
- 卵巣組織凍結
- 精子凍結
- 精子凍結(精巣内精子採取)
- 凍結保存の更新 (佐賀県独自)

※各費用に対する助成金額については、下記のURLよりご確認ください。また、凍結保存の更新は、期限付きとなっております。



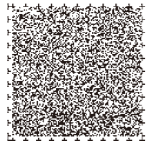
※妊よう性温存治療/がん治療などの前に精子や卵子等を採用し凍結保存する治療。

県では、小児・AYA世代(Adolescent and Young Adult)と呼ばれる若年がん患者さんなどを対象に、妊よう性温存治療費の一部を助成することで、経済的負担を軽減し、将来子どもを産み育てるとい希望を持ってがん治療などができるよう、環境を整備しています。

令和3(2021)年度より、対象年齢が40歳未満から43歳未満に引き上げられたことに合わせて、一部治療に対する助成金の増額や、対象疾患の追加、凍結保存を行った場合の更新費用を期限付きで助成するなど、制度を拡充します。

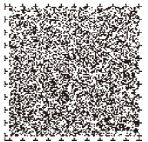
お問い合わせ先

- ①【保育幼児教育センター】 こども未来課 ☎0952-25-7616 ✉hoikuyouchien@pref.saga.lg.jp
- ②【妊よう性温存治療支援】 健康増進課 がん撲滅特別対策室 ☎0952-25-7491 ✉kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp
がんポータルさが URL https://www.ganportal-saga.jp/josei/aya_ninyou
- ③【子育てし大“券”】 まちづくり課 ☎0952-25-7159 ✉machizukuri@pref.saga.lg.jp



お問い合わせ先

- ①【相談支援】 こども家庭課 ☎0952-25-7056 ✉kodomo-katei@pref.saga.lg.jp
- ②【さがウェディングストーリー】 こども未来課 ☎0952-25-7381 ✉kodomomirai@pref.saga.lg.jp





佐賀さいこうビジョン

人の想いに 寄り添う

Considerate

1 令和4年4月開館予定 点字図書館リニューアル

これまで視覚障害者向けに点字図書や録音図書の製作・貸出などを行ってきた点字図書館は、令和4(2022)年4月に「視覚障害者情報・交流センター」あいさが「(仮称)」としてリニューアルオープンします。

それに合わせて、視覚障害者に限らず、より多くの方が活用できるよう最寄りの公共図書館を通じて図書を利用できる仕組みを作っていきます。また、専門の相談員を配置して支援に力を入れるほか、視覚障害者とその家族の交流スペースも新たに設けます。

図書サービスだけでなく、視覚相談や交流の場としても利用される施設を目指します。

2 佐賀を支える ドクターを育て、 支援します

高齢化に伴い増加する医療需要への対応が求められる中、誰もが安心して医療サービスを受けられるよう、県では、

医師の育成と定着を推進する「SAGA Doctor・Sプロジェクト」を進めています。

高等学校での現役医師による講演会などを実施し、高校生の医学への関心を高めるとともに、佐賀県で学び・働き・活躍する医師を増やすため、佐賀大学に設置した「医師育成・定着支援センター」で医学生や医師のキャリア形成を支援しています。

また、医療機関などと連携し、医師が働きやすい環境づくりや医師が少ない地域でも安心して医療サービスを受けられる体制づくりに取り組んでいます。



伊万里高等学校での医"志"を知るセミナーの様子

3 医療的ケア児※の 保護者にきめ細やかな サポートをします

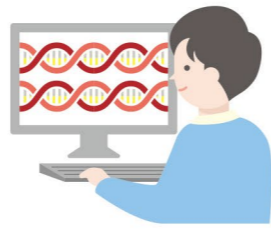
医療的ケア児の在宅生活を日々懸命に支えている保護者の経済的・精神的負担は非常に大きいものとなっています。県では、保護者などが介護から一時的に離れ休息(レスパイト)できる環境づくりをより一層進め、併せて日頃抱えている悩みや困りごと、必要としている支援の実態を把握するとともに、気軽に相談できる専門窓口の開設や、在宅生活に必要な情報をまとめたガイドブックの作成・配布を行います。

今後も医療的ケア児と保護者が安心して在宅で生活できる環境を整えていきます。

※医療的ケア児/人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。

4 がんゲノム医療提供体制を 強化します

医療技術の向上などにより、がん患者の生存率は改善傾向にあります。しかし、治療が難しい難治性がんなどを患って



いる方はまだまだ多くいます。

効果的な医療として、がんゲノム医療※への期待が高まる中、

県では、がんゲノム医療提供体制を強化するために、県がん診療連携拠点病院である佐賀大学医学部附属病院の専門医の配置や、育成などの人員体制強化を支援します。がんゲノム医療を必要とする患者の方々に十分に対応できるよう、体制を構築し、県内のがんゲノム医療を充実させていきます。

※がんゲノム医療/がん細胞に起きている遺伝子の変化を調べ、それに応じた薬剤を選定するなど一人一人の体質や病状に合わせて治療などを行う医療。

5 さがらしい、 やさしさのカタチ 「さがすたいる」

県では、お年寄りや障がいのある方、妊娠・子育て中の方など、みんなが心地よく暮らすことができる、人にやさしいまちのスタイル「さがすたいる」を広める取組を行っています。



さがすたいる
さがらしい、やさしさのカタチ

「さがすたいる」を広めていくためには、一人ひとりが同じところ・違うところもあるという多様性を当たり前のこととして受け入れることが大切です。

今年度は新たに、秋に開催される「佐賀さいこうフェス」においてイベントを開催するなど、多様な方々が自然な形で触れ合う機会を更に増やし、みんなが自然な形で、お互いが尊重し合えるような、人にやさしい佐賀県をつくっていきます。



さがすたいるフェス(謎解き)



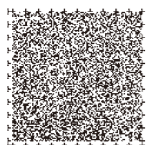
さがすたいるフェス(マルシェ)



レッツさがすたいるトーク

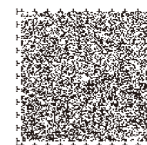
お問合せ先

- ①【医療的ケア児】 障害福祉課 ☎0952-25-7064 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp
- ②【がんゲノム医療】 健康増進課 がん撲滅特別対策室 ☎0952-25-7491 ✉kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp
- ③【さがすたいる】 県民協働課 ☎0952-25-7068 ✉kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp
さがすたいるウェブサイト URL <https://saga-style.jp>



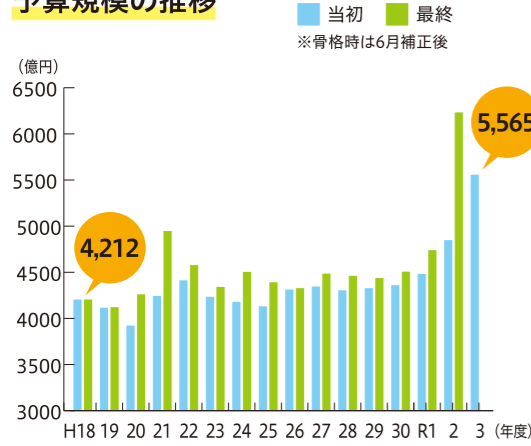
お問合せ先

- ①【点字図書館】 障害福祉課 ☎0952-25-7401 ✉shougaifukushi@pref.saga.lg.jp
- ②【医師育成・定着】 医務課 医療人材政策室 ☎0952-25-7358 ✉imu@pref.saga.lg.jp

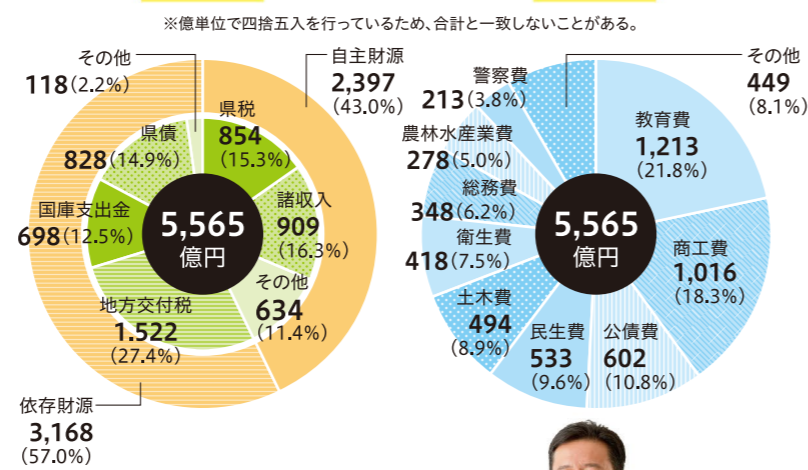


令和3年度佐賀県の当初予算

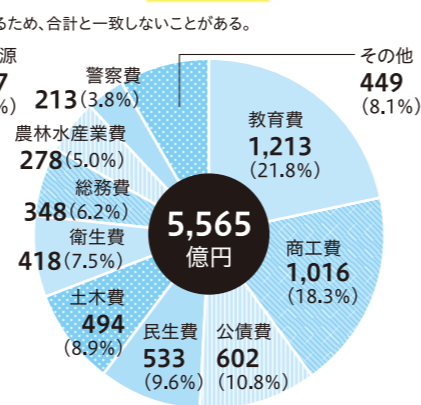
予算規模の推移



歳入予算



歳出予算



世界に誇れる佐賀県

全国1位

早生温州のうち
ハウスみかん出荷量
6,250t
【R2年】農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国1位

人工林率
(人工林面積/森林面積)
67%
【R2年度】「佐賀県森林・林業統計要覧」

全国1位

板のり収穫量
17億7,059万枚
【R2年】「佐賀県有明海漁業協同組合」

全国1位

障害者法定雇用率
達成企業の割合(民間企業)
68.9%
【R2.6.1】厚生労働省
「障害者雇用状況の集計結果」

全国1位

国道・県道舗装率
100%
【H31.4.1】国土交通省
「道路統計年報」

全国1位

女性消防団員の組織率
(人口千人当たり)
0.55人
【R2.4.1】消防庁「消防団の組織
概要等に関する調査の結果」

全国1位

薬局数
(人口10万人当たり)
63.1か所
【R2.3.31】厚生労働省
「衛生行政報告例」

全国2位

快晴日数
(年間)
41日
総務省「統計でみる都道府県のすがた2021」

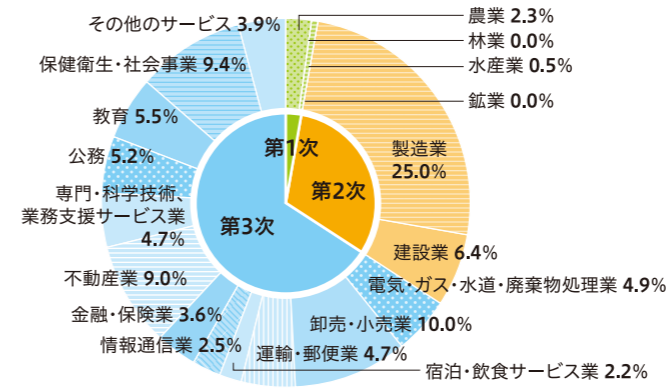
全国3位

15歳未満人口割合
13.5%
【R1年】総務省「人口推計」

佐賀県の産業

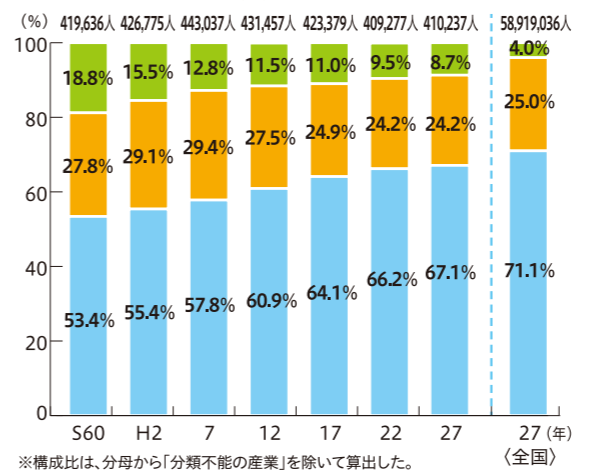
経済活動別県内総生産(名目)の構成比

資料:県統計分析課「平成30年度県民経済計算」



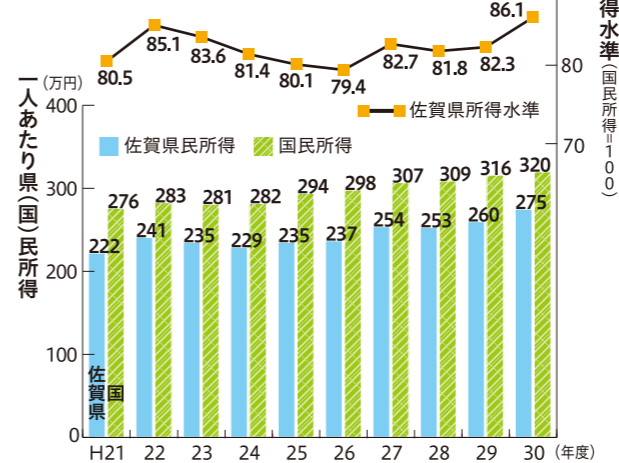
就業人口の推移

資料:総務省「国勢調査」



県民所得の推移(1人あたり)

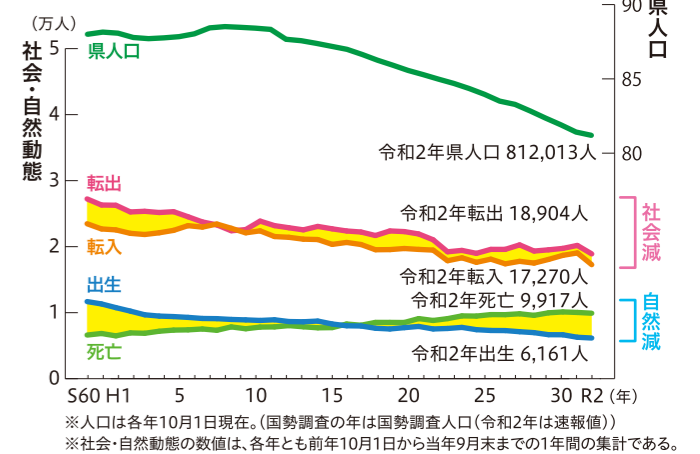
資料:県統計分析課「平成30年度県民経済計算」



佐賀県の人口

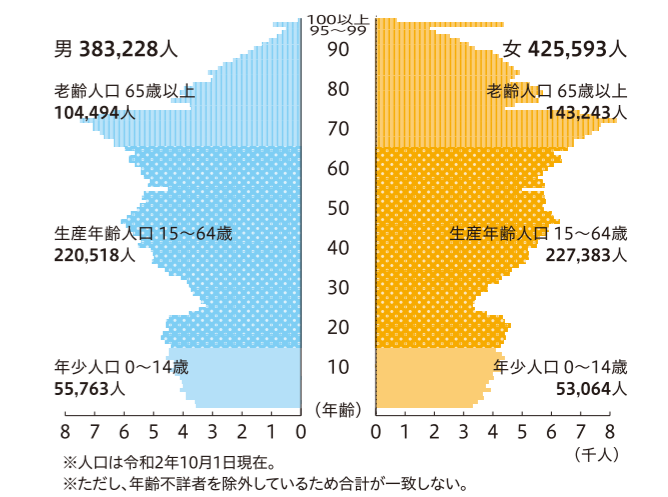
人口の動態

資料:県統計分析課「推計人口」・総務省「国勢調査」



人口ピラミッド

資料:県統計分析課「推計人口/令和2年度(2020年度)」



世帯数及び世帯人数の推移

資料:総務省「国勢調査」

